

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果（公表用 ①）

（評価書式は千葉県福祉サービス第三者評価の児童館用を使用する）

1 評価機関

名称	NPO法人 ACOBA
所在地	千葉県我孫子市本町3-7-10
評価実施期間	平成29年9月1日～平成29年12月20日

2 評価対象事業者

名称	放課後KIDSルーム東松戸	種別： 松戸市地域放課後児童支援事業
代表者氏名	理事長 和田 幸子	定員（利用者人数）： 10月末 271名
所在地	松戸市紙敷1-9-1 東松戸小学校内	TEL 047-3935-1231

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

<p>◆ 特に評価の高い点</p> <p>1) 放課後子ども総合プランを見据えた先駆的な施設 当ルームは、平成28年4月開設の東松戸小学校にあって、設計から学校施設と一体に整備され、「児童クラブ」とも隣接して配置されている。子どもの放課後活動のスペースが校舎内に位置するだけでなく、専用の湯沸室やトイレなど施設が充実している。学校体育館とも連結していて、放課後の利用も認められている。大きな広場を有した市の公園が隣接し、屋外での活動もしやすい環境となっている。小学校自体が鉄道の駅から至近であり、様々な点で先駆的な施設だと言える。</p> <p>2) 教育経験の豊富なスタッフの運営 管理者は永年にわたる教職経験があり、小学校教育に携わる方々と人脈を有し、開設間もない当ルームと学校とは良好な連携が行われている。支援スタッフも教員免許を全員が有していて、子どもの状態をよく見守っている。学習と遊びについてどう効果的な環境を整えるか、の問題意識を持ちながら子どもの声にも耳をかしている。利用児童が毎日変化するルームで、子どもを把握していく工夫も随所にみられる。</p> <p>◆ 特に改善を求められる点</p> <p>1) ルームに絞った理念と方針の確立 当ルームの運営法人は、認可保育園を中心とした事業では伝統を有すると共に、数多くの事業を展開し多様な社会のニーズにも応えてきた。法人理念や基本方針を始め、運営に関して模範的な法人であり、整備水準も高い。それだけに、放課後の子どもについて特化したルーム事業の基本理念と方針を打ち立てて、さらに事業の質を高め他の範となることを期待したい。</p>

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

<p>第三者評価を受審し、子どもや保護者アンケート結果から高評価をいただいたことは、非常にありがたく、励みになりました。また、評価員の方々から頂きました貴重なヒントや課題は真摯に受け止め、マニュアルの整備や安全対策への取り組みなど、今後も継続し、より一層期待に沿えるよう努力をしてみたいと思います。</p>

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

<p>● 児童に対する法人の教育・保育方針は 「知育・徳育・体育のバランスの取れた人間形成をめざす」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 素直で賢い子・ 明るく思いやりのある子・ 心身ともに元気な子

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果（公表用）②

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
I 福祉サービスの基本方針と組織	<p>①高学年の子には、レクリエーションを行う際もリーダー体験が出来るよう「KIDSのリーダーになってね!」と、意識付けをしている。また、ほかの児童に対しても自然な遊びの中でリーダーシップをとる場を設定するなど配慮している。</p> <p>②個人情報の書かれた書類は鍵付きのロッカーに必ず保管している。また不用意に第三者に漏らさないことを含め、関係者のボランティア活動にもプライバシー保護に則った対応がなされている。</p>
II 組織の運営管理	<p>①放課後児童クラブと一体型の運営として、東松戸小学校に通うすべての児童が利用できる事業を展開しようとする理想の実現に努力している。管理者に教育経験が深い人材を登用し、児童クラブとKIDSルームとの運営の一体化を図ると共に、施設が最も関係する小学校との連携を強化している。</p> <p>②開設し1年を超えたところで、これまでの実践を振り返り、ルームに着目した基本理念と方針を打ち立て、職員の研修等を含めた中長期の計画を立てて目的達成に向けた一層の努力に期待したい。</p>
III 適切な福祉サービスの実施	<p>①児童クラブとの連携を図り、職員が協力して多くの児童が楽しめる工作やレク等のプログラムを行っている。本年は階段を座席に早変わりさせてのミニシアター「みんなで映画会」の取り組みが大好評だった。</p> <p>②完全下校の「よいこのチャイム」が鳴るまでの間、全部で5つの下校時刻を設定し、保護者・児童の希望する下校時刻に対応しており、最終は集団下校の形で安全に送り届けている。</p> <p>③ユニバーサル用のトイレが設置され、またオストメイト用も設備されている。個室も広々として使いやすくなっている。障害のケースに応じてその都度、管理者や学校と連携を図り対応策を考えている。</p>

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
IV サービスの内容	<p>①折り紙などの工作材料費や図書費など活動の経費については、十分な予算を確保できている中、児童の成長や時期を見ながら職員間で話し合い、工作内容や本の選定を行っている。</p> <p>②利用者アンケートで「図書室」の利用を求める声が多数寄せられている。放課後KIDSルームが学校図書室を活用した事業として展開されてきた経緯も影響してそうだが、落ち着いた環境で読書を希望する声があることも事実である。学校図書室の利用については、一考の余地があるので、今後の活動の中で検討いただきたい。</p>

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果（公表用 ③）1～47					評価結果
大項目	中項目	小項目	項目		評価結果
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	①理念が明文化されている。	a
			2	②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
		(2) 理念・基本方針の周知	3	①理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	b
			4	②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	①中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	b
			6	①事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	a
		(3) 計画の適正な策定	7	①施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	b
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	①質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a
			9	②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a
II 組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	①事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	a
			11	②経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
	2 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12	①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	a
			13	②人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	b
			14	③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	b
		(2) 職員の就業への配慮	15	①事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	a
			16	②福利厚生に積極的に取り組んでいる。	a
			17	③職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	b
	(3) 職員の質の向上への体制整備	18	②定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b	
		19	③実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている	b	
		20	①緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	
	3 安全管理	(1) 利用者の安全確保	21	②利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a
			22	①地域との交流・連携を図っている。	b
	4 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	23	②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	b
			24	③事業所が有する機能を地域に還元している。	b
			25	④関係機関等との連携が適切に行なわれている。	a
			26	①地域の福祉ニーズを把握している。	a
		(2) 地域福祉の向上	27	②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b
			28	①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	a
	III 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	29	②プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。
30				①利用者満足向上を意図した仕組みを整備している。	a
(2) 利用者満足向上			31	②利用者満足向上に向けた取り組みを行っている	a
			32	①苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	a
(3) 利用者意見の表明			33	②寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	a
			34	③利用者からの意見等に対して迅速に対応している	a
2 サービスの質の確保		(1) サービスの質の向上への取り組み	35	①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
			36	②課題発見のための組織的な取り組みをしている。	a
			37	③常に改善すべき課題に取り組んでいる。	a
		(2) サービスの標準化	38	①職員の対応について、マニュアル等を作成している。	a
			39	②日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	a
			40	①利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	a
(3) 実施サービスの記録		41	②利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	a	
		42	①施設利用に関する問合せや見学に対応している。	a	
3 サービスの開始・継続	(1) サービス提供の適切な開始	43	②サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	a	
		44	①利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a	
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	45	①一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	a	
		46	②個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	a	
	(2) 個別支援計画の策定	47	③個人情報保護に関する規定を公表している。	a	
		48	①個人情報の保護に関する規定を公表している。	a	
		49	②個人情報の保護に関する規定を公表している。	a	

項目別評価結果・評価コメント(公表用 ④) 1~27

事業者名 放課後KIDSルーム東松戸

評価基準	項目番号	評点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織			
I-1 理念・基本方針			
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	1	a	運営法人は保育事業を長年にわたって展開している。「知・徳・体とバランスのとれた豊かな子ども」を目標に、法人の保育理念は明確であり明示されている。
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	a	基本方針も法人の保育理念に沿って放課後KIDSルームの方針としてそのまま適用し明文化している。
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	b	法人の初任者研修やルームの打ち合わせなど、その都度理念と方針を確認しているが、ルーム内の掲示は、より意識しやすい場所にするなどの改善が必要と思われる。
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	a	入会時に説明していると共に、ルームだよりでも周知している。ただし、パンフレットはKIDSルームに特化した利用者向けの資料が用意されると、さらに周知しやすくなると考える。
I-2 計画の策定			
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-(1)-① 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	b	市は放課後KIDSルームの目的に沿って①安心安全の場の提供②児童と地域との交流・学習の場の提供など4つの事業内容を定めている。市の趣旨に沿った運営が行われているが、次年度以降は市の方針を受けた事業計画の策定が望まれる。
I-2-(2) 重要課題の明確化			
I-2-(2)-① 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	a	孤立化ぎみな子の存在、やや問題のある学習態度、利用者個々の帰宅時間への対応などルームがかかえる課題はよく把握されている。
I-2-(3) 計画が適切に策定されている。			
I-2-(3)-① 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	b	管理者と課題については機会をとらえて話し合い解決にむけた努力は認められるが、ルームとして定期的な会議や仕組みが出来上がっていない。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ			
I-3-(1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(1)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	a	スタッフ全員が教員免許を有し、教育現場での経験者を揃えている。管理者は教育経験が豊富であり、管理業務にも携わっていたので、既に質の高さは確保されている上、スタッフの意見に耳を傾ける姿勢が認められる。
I-3-(1)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	a	階段を利用した「ミニシアター」や廊下を活用した能動的スペースの活用など、放課後児童クラブと一体型ルームであることを活かして、施設の効果的・効率的活用を積極的に推進している。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ 組織の運営管理			
Ⅱ-1 経営状況の把握			
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等への対応			
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	a	管理者が教職経験が深く、市内の教育事情に明るいことは有利である。放課後児童クラブと一体型であることによって、児童クラブを通じた関連情報も得る環境にあり、よく把握されている。
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	a	和名ヶ谷児童クラブ・同KIDSルームとの交流によって開設間もない事業運営における経験のハンデを補完し、課題発見にも生かそうとしている。今回の第三者評価の受審も課題発見の取り組みと意識されている。
Ⅱ-2 人材の確保・養成			
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
Ⅱ-3-(1)-①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	a	運営する法人は「個人情報保護方針」を定めていて公開されている。
Ⅱ-2-(1)-②人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。	13	b	法人としての人事方針はあるものの、放課後KIDSルームについての人材確保と養成は確立されていない。
Ⅱ-2-(1)-③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	b	法人本部では職員評価のための客観的な基準を作成し充実した「自己評価」が行われている。ルーム職員にはまだ適用されていないが、努力が続けられている。
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
Ⅱ-2-(2)-①事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	a	KIDSルームはスタッフも少数であり、職員同士や管理者と顔を合わせる機会が多い。就業に関して、休暇のやりくりなど良好な人間関係の中で解決できている。
Ⅱ-2-(2)-②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	a	法人が「福利厚生センター ソウエルクラブ」に加入して、職員の福利厚生に取り組んでいる。
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上への体制整備			
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	b	法人の職員全般に関わる基本姿勢はあるが、KIDSルーム職員が質を向上させるための教育・研修に関する基本姿勢は明示されていない。
Ⅱ-2-(3)-② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	b	職員に必要な研修機会は割り振られて参加できているが、定期的に評価・見直しが行われるには至っていない。
Ⅱ-2-(3)-③ 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	b	実習の要請があれば、受け入れていく姿勢をもっている。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ-3 安全管理			
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
Ⅱ-3-(1)-① 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	a	ルームが校舎内にあることから、学内放送が受けられる。小学校の教頭先生を窓口として、相互の連絡体制があるほか、学校用緊急メールを職員が受信できるように整備している。
Ⅱ-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	a	出席や下校の状況がつぶさにわかるよう工夫した取り組みが認められる。児童を対象とした事件を契機に集団下校を実施するなど、手厚い対応に努めている。
Ⅱ-4 地域との交流と連携			
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
Ⅱ-4-(1)-① 地域との交流・連携を図っている。	22	b	児童と地域の人との交流の場、学習の場の提供は、市が放課後KIDSルームに示す事業の一つである。「運営委員会」で検討すると共に、運営が一通り落ち着いてきた時期には、更に取り組みが充実するよう期待したい。
Ⅱ-4-(1)-② 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	b	隣接する公園を、施設外の社会資源として活用している。また、学校の理解を得て体育館も利用できている。保護者から望まれている学校図書室の活用については「運営委員会」や「協議会」などで検討を重ねていくことを希望する。
Ⅱ-4-(1)-③ 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	b	市は「地域の子育て力を育み、子育て支援活動の促進や支援を行う」とKIDSルームの目的を示している。一案として、豊かな教育経験を有する管理者とスタッフならではの教育相談や学習支援等を通じた地域支援の可能性を有している。
Ⅱ-4-(1)-④ 関係機関との連携を図っている。	25	a	緊急時だけでなく、日常の学校施設の利用や校内行事等の情報交換、KIDSルームだよりの学校への提供など、ルームが最も関係する学校と連携がよくとれている。
Ⅱ-4-(2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
Ⅱ-4-(2)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	26	a	宿題に取り組む習慣や学習態度の形成など地域における保護者ニーズを受けた運営が行われている。
Ⅱ-4-(2)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	b	保護者のニーズを見据えた取り組みが行われている。放課後児童クラブのように市内事業者の連絡組織もなく難しい課題だが、さらに地域ニーズの把握に努めて充実したKIDSルームの展開に期待したい。

項目別評価結果・評価コメント(公表用 ⑤) 28~47

事業者名 放課後KIDSルーム東松戸

評価基準	項目番号	評点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	a	入職時に「個人情報に関する誓約書」提出を求めプライバシー保護を喚起している。個人情報保護方針を設定し、職員の責任にも言及し、適切な取り扱いの他、個人情報の重要性和相手方との信頼関係を築くこと等を求めている。
Ⅲ-1-(1)-② プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	a	児童の個人情報の書かれた書類は鍵付きのロッカーに必ず保管している。また不用意に第三者に漏らさないことを含め、関係者のボランティア活動にもプライバシー保護に則った対応をするなど徹底を図っている。
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に務めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	30	a	保護者からの申し出や、児童との会話の中から要望等を聞いている。また第三者評価での児童・保護者のアンケートを参考に、満足度向上に向けた仕組みづくりに向けて検討しようとしている。
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	31	a	児童クラブとの連携を図り、職員が協力して多くの児童が楽しめる工作やレク等のプログラムを行っている。本年は階段を座席に活用した「ミニシアター」「みんなで映画会」を実施、大好評だった。内容も子どもたちの成長や季節などに合うように設定するなど取り組んでいる。
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	a	法人として「苦情窓口」を設け、窓口担当者も記載されている。文書は保護者に説明及び配付している。
Ⅲ-1-(3)-② 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	a	苦情等が寄せられた場合は、まず管理者に内容報告を行っている。相手方との信頼関係を最重視しており、円満な解決方法の相談と迅速な対応に努めている。
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	a	要望・意見に対して職員間で話し合い、大勢の児童たちがお互いに楽しくかつ向上心が育まれる活動が出来るよう、工夫している。一つひとつの意見等に真摯に向き合い、児童とのより良い関係を築き上げるためにも迅速な対応を心がけている。
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	a	児童からは日常的な会話の中で、保護者からはお迎え時などで、情報や問題点などを聞いている。また第三者評価を受審している。
Ⅲ-2-(1)-② 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	a	他校のKIDSルームの職員が見学に来た際に、他校の活動の様子や気にかかることなど伺い参考にしている。場合によっては、保護者や児童から問題点等を職員が聞き取り対応するよう取り組んでいる。
Ⅲ-2-(1)-③ 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	a	毎終了後に、職員3人体制の中で話し合う時間を設けている。課題が発見された場合は、早期解決に向けて取り組んでいる。

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-① 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	a	法人として運営マニュアルが作成されている。また放課後KIDSルームのマニュアルが作成され、ファイリングされている。
Ⅲ-2-(2)-② 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	a	児童の様子を見ながら改善点について随時話し合いの場を設けている。現状に即したマニュアルとなるよう今後は放課後KIDSルームに特化した内容を加えて改善しようとしている。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	a	体調の悪そうな児童については体温を測り専用の記録書に記載し保護者へ連絡するなど、児童の体調変化を把握するようにしている。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	a	体調が悪い場合や何らかの手当てなどの処置を行った際には、専用の記録書に記載し必ず職員間で報告し合い共有している。その後の児童の状態について観察をしている。
Ⅲ-3 サービスの開始・継続			
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-① 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	a	入学時には説明会を開き、ルームが「放課後などに安全に安心して過ごせる子どもの居場所である」ことを説明し利用案内を配付している。利用に関する問い合わせについては、電話や来校時などに受け付けている。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	a	入学時の説明会で資料を配付し説明しているが、入会時にも再び具体的に説明し、理解した上で入会いただいている。またホームページにも利用案内を掲載している。
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定			
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-① 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	a	宿題や自主学習を通して学習する習慣を身につけることを主眼に置くが、児童一人ひとりの学習深度や理解力を考慮した指導を心がけている。自立を促すために遊びや集団活動の中で役割を持たせることによって支援している。
Ⅲ-4-(2) 個別支援計画の策定			
Ⅲ-4-(2)-① 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	a	完全下校の「よいこのチャイム」までに5回に分けて集団下校時間を設定、保護者・児童の希望に対応している。退職職員にお別れ会をしたいと多数の児童からの要望にも、職員は側面から応援し、児童自ら計画を立て実行に至った実績もある。
Ⅲ-4-(2)-② 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	a	職員間で話し合いを持ち、ケースに応じて個別支援計画の見直しを図っている。必要な場合には、学校と連携して個別支援計画を検討する。
Ⅲ-4-(3) 情報の管理			
Ⅲ-4-(3)-① 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	a	KIDSルーム内に掲示している。また法人のホームページにも「個人情報保護方針」を掲載している。

福祉サービス第三者評価項目（児童館）の評価結果（公表用 ⑥） 1～29					評価結果
*児童館をKIDSに読み替える (2, 6, 7, 8, 13, 14, 22は非該当)					
大項目	中項目	小項目	項目		
IV 児童館	1 児童館等の活動に関する事項	(1) 遊びの環境整備	1	遊ぶ際に守るべき事項（きまり）が、利用者に理解できるように決められている。	a
			2	乳幼児から中高生までの児童すべてが日常的に気軽に利用できる環境がある。	非該当
			3	利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している。	a
			4	くつろいだり、休憩したりするふれあいスペースを作っている。	a
			5	幅広い年齢の児童が交流できる場が日常的に設定されている。	a
		(2) 乳幼児と保護者への対応	6	乳幼児と保護者が日常的に利用している。	非該当
			7	乳幼児活動が年間を通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている。	非該当
			8	保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している。	非該当
		(3) 小学生への対応	9	職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している。	a
			10	職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。	a
			11	障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている。	a
			12	行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている。	a
		(4) 中高生への対応	13	日常的に中高生の利用がある。	非該当
			14	中高生が主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している。	非該当
		(5) 利用者からの相談への対応	15	利用者からの相談への対応が自然な形で行われている。	a
			16	虐待を受けた児童や不登校児への支援体制が整っている。	a
		(6) 障害児への対応	17	障害のある児童の利用に対する支援策が整っている。	a
		(7) 地域の子育て環境づくり	18	住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している。	b
			19	地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている。	a
		(8) 広報活動	20	広報活動が適切に行われている。	a
			21	児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるように創意ある広報活動が行われている。	a

☆ 大型児童館の対象となるかの確認必要

(大型児童館のみ)	2 大型児童館の活動に関する事項	(1) 大型児童館の特色を生かした地域児童館等との連携	22	大型児童館としての施設・設備や人材、プログラムを備え、有効に活用している。	非該当
			23	都道府県（市）内全域を対象にした健全育成活動に取り組んでいる。	b
			24	児童館活動等に関する情報収集が適切に行われている。	a
			25	都道府県（市）内児童館へのプログラム提供が適切に行われている。	a
			26	都道府県（市）内児童館の職員に対する研修や相互交流の機会づくりに取り組んでいる。	a
		(2) 健全育成の環境作り	27	児童の健全育成に関する普及啓発と調査研究に積極的に取り組んでいる。	b
			28	児童の健全育成にかかわる地域団体等の支援とネットワークづくりに積極的に取り組んでいる。	b
			29	児童の健全育成に関する関係機関との連絡・協議が適切に行われている。	b

項目別評価結果・評価コメント（公表用 ⑦） 児童館 1～29

事業者名 放課後KIDSルーム東松戸

(2, 6, 7, 8, 13, 14, 22は非該当)

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV 児童館			
IV-1 児童館等の活動に関する事項			
IV-1-(1) 遊びの環境整備			
IV-1-(1)-① 遊ぶ際を守るべき事項(きまり)が、利用者に理解できるように決められている。	1	a	基本ルールを掲示している。1年生から6年生まで幅広い児童が利用しているが、1年生でも理解できるように、分かり易い言葉で話している。学校のルールを守ることが安全に繋がることを児童たちに話している。
IV-1-(1)-② 乳幼児から中高生までの児童すべてが日常的に気軽に利用できる環境がある。	2	非該当	該当せず
IV-1-(1)-③ 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している。	3	a	工作や遊具で遊んだりするプレイゾーンと、宿題や読書等を行うラーニングゾーンにエリアを分けて双方が混然となることを避け、適した環境となるよう整備されている。各エリアでは読書や工作など、それぞれに自由に選択している。
IV-1-(1)-④ くつろいだり、休憩したりするふれあいスペースを作っている。	4	a	ルームには椅子とテーブルがセットされるエリアと、着座して利用するエリアがあり、おしゃべりしたり寛いだり休憩したり等、児童がホッとできるふれあいスペースとなっている。
IV-1-(1)-⑤ 幅広い年齢の児童が交流できる場が日常的に設定されている。	5	a	遊び道具では、将棋・オセロ・百人一首など異なる学年でも日常的に交流できるよう配慮がみられる。当ルームは一体型で、放課後児童クラブも隣接して設置され異年齢の児童が交流しやすいように整備されている。
IV-1-(2) 乳幼児と保護者への対応			
IV-1-(2)-① 乳幼児と保護者が日常的に利用している。	6	非該当	該当せず
IV-1-(2)-② 乳幼児活動が年間を通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている。	7	非該当	該当せず
IV-1-(2)-③ 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している。	8	非該当	該当せず

評価基準		評点	コメント
IV-1-(3) 小学生への対応			
IV-1-(3)-① 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している。	9	a	児童について、挨拶の声のトーンや表情に気をつけている。いつもと違う場合は、状態を聞いたり、様子を見たりして対応している。
IV-1-(3)-② 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。	10	a	高学年の児童には、レクを行う際にリーダー体験が出来るよう「KIDSのリーダーになってね!」と、意識付けをしている。また、ほかの児童も自然な遊びの中でリーダーシップをとる場を設定するなど配慮している。
IV-1-(3)-③ 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている。	11	a	障害のある児童と国籍の異なる児童は、現在いない。以前に国籍の違う児童がいたが、国籍を全く気にせずに一緒に遊ぶ様子が見られていた。
IV-1-(3)-④ 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている。	12	a	自主性・主体性など児童の成長の様子や時期を見ながら職員間で工作の内容を話し合ったり、本の選定等を行っている。
IV-1-(4) 中高生への対応			
IV-1-(4)-① 日常的に中高生の利用がある。	13	非該当	該当せず
IV-1-(3)-② 中高生が主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している。	14	非該当	該当せず
IV-1-(5) 利用者からの相談への対応			
IV-1-(5)-① 利用者からの相談への対応が自然な形で行われている。	15	a	発育過程の心身の成長を職員は側面から応援している。相談に親身に寄り添い、一緒に考えるなどの援助を心掛けている。普段からささいな変化にも気づくように児童と接している。また児童が心を許し、相談されやすい職員を目指し、普段から人間関係作りを意識している。
IV-1-(5)-② 虐待を受けた児童や不登校児への支援体制が整っている。	16	a	現在、前例はない。万が一の場合は管理者と職員間で連絡を取り合い学校とも連携し、共通理解を持ち対応していく体制は整っている。
IV-1-(6) 障害児への対応			
IV-1-(6)-① 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている。	17	a	トイレはユニバーサルデザインで、オストメイトにも対応できる設備がある。ルームに段差はなくバリアフリーとなっている。校舎には障害者用エレベーターも設置されている。障害のケースに応じて職員も加配されるなど支援策が講じられている。
IV-1-(7) 地域の子育て環境づくり			
IV-1-(7)-① 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している。	18	b	「地域の目」としてのPTAによる登下校時のパトロールがある。当ルームが子育て支援活動を促進する活動を実施するには至っていない。
IV-1-(7)-② 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている。	19	a	集団登下校による安全性の確保や、PTAによる登下校時のパトロール、加えて交通量の多い通学路等での正しい交通ルールの会得など取り組んでいる。、

評価基準		評点	コメント
IV-1-(8) 広報活動			
IV-1-(8)-① 広報活動が適切に行われている。	20	a	月1回「KIDSルームだより」を発行し、毎月のルームの活動内容を発信している。ルーム入口に掲示すると共に、保護者へ配付。松戸市のHP「まつどあ」に掲載されている。
IV-1-(8)-② 児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるよう創意ある広報活動が行われている。	21	a	毎月、「KIDSルームだより」をルーム入口に掲示、ルーム登録者には学校を通して全員に配付している。また入学説明会や入学式で、ルームについて案内をして利用を促している。
IV-2 大型児童館の活動に関する事項			
IV-2-(1) 大型児童館の特色を生かした地域児童館等との連携			
IV-2-(1)-① 大型児童館としての施設・設備や人材、プログラムを備え、有効に活用している。	22	非該当	該当せず
IV-2-(1)-② 都道府県(市)内全域を対象にした健全育成活動に取り組んでいる。	23	b	ルームは現在特に取り組んではいないが、運営法人は市内に広く保育事業を展開していて、健全育成活動には積極的に取り組んでいる。
IV-2-(1)-③ 児童館活動等に関する情報収集が適切に行われている。	24	a	市のHP「まつどあ」で他のキッズルームの「ルーム通信」を検索し、活動内容を見て参考にしている。また同法人による他校のKIDSルーム職員とも情報交換をしている。
IV-2-(1)-④ 都道府県(市)内児童館へのプログラム提供が適切に行われている。	25	a	市のHP「まつどあ」に、「KIDSルームだより」を掲載している。
IV-2-(1)-⑤ 都道府県(市)内児童館の職員に対する研修や相互交流の機会づくりに取り組んでいる。	26	a	職員育成に取り組んでおり、外部研修には積極的に参加している。
IV-2-(2) 健全育成の環境作り			
IV-2-(2)-① 児童の健全育成に関する普及啓発と調査研究に積極的に取り組んでいる。	27	b	ルームは現在特に取り組んではいないが、運営法人は市内に広く保育事業を中心に展開していて、健全育成の環境づくりには積極的に取り組んでいる。
IV-2-(2)-② 児童の健全育成にかかわる地域団体等の支援とネットワークづくりに積極的に取り組んでいる。	28	b	当ルームは放課後児童クラブと一体型のルームであることから、児童の健全育成とも無縁ではない。健全育成にかかわる地域団体等の支援と相互連携などのモデル的取り組みが望まれる。
IV-2-(2)-③ 児童の健全育成に関する関係機関との連絡・協議が適切に行われている。	29	b	毎月、法人本部が市へ活動内容の報告をしている。放課後児童クラブのような運営事業者による連絡組織が放課後KIDS事業にはないため、市を始めとする関係機関との連絡・協議が難しい現状にある。リーダー的存在である運営法人の役割に期待したい。